



文化芸術の花 咲いわり
 美ら島おきなわ文化祭2022
 第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭

将棋

フェスティバル

in 宜野湾

11/19 (土) 子ども将棋大会 (小中学生限定)

11/20 (日) 記念将棋大会 (階級別)

・有段者・級位者・初級者・初心者

無料イベント

- ・プロ棋士指導対局 (多面指し)
- ・プロ棋士公開対局 (大盤解説付き)
- ・プロ棋士講演会
- ・駒師制作実演

第33回宜野湾市産業まつり 同時開催

日時：令和4年11月19日(土)・20日(日)

会場：宜野湾市立体育館

出演棋士



森内俊之
(九段)



池永天志
(五段)



富田誠也
(四段)



室田伊緒
(女流二段)



★駐車場の台数に限りがございますので、出来るだけ公共交通機関をご利用ください。



—主催者—

文化庁 / 厚生労働省 / 沖縄県 / 沖縄県教育委員会 / 宜野湾市 / 宜野湾市教育委員会 / 美ら島おきなわ文化祭2022 沖縄県実行委員会 / 美ら島おきなわ文化祭2022 宜野湾市実行委員会 / 公益社団法人日本将棋連盟 / 日本将棋連盟 沖縄県支部連合会

—注意事項—

※イベントの内容、出演予定者は変更となる場合があります。
 ※写真や名前等の個人情報がプログラム、大会記録、新聞、インターネット上の関連サイト等に掲載される場合があります。また、主催者の許可を受けた事業者によって撮影された写真やビデオ等が公開される場合があります。

ごあいさつ



文部科学大臣 永岡 桂子

第37回国民文化祭が、10月22日から11月27日までの37日間にわたり、新型コロナウイルス感染拡大対策が徹底される中、沖縄県内各地において盛大に開催されることとなりました。

国民文化祭は、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業などの各関連分野における施策と有機的に連携しつつ、地域の文化資源等の特色を生かした「文化の祭典」です。また、各種の文化活動を全国規模で発表、共演、交流する場を設けるとともに、それらの活動により生み出される様々な価値を文化の継承、発展及び創造に活用し、文化芸術の一層の振興に寄与するものとして、昭和61年から開催されて以来、今回で37回目を迎えます。

今回開催地となる、亜熱帯の美しい海に囲まれた沖縄県は、東アジア有数の交易国家として栄えた琉球王国の時代から、日本、中国、東南アジアなどの文化を巧みに融合させ、独自の文化を成熟させてきました。時代の移り変わりの中で絶えず継承され、新しい感性の彩りが加えられてきた沖縄県の文化は、「チャンプルー文化」ともいわれるほど多様性を内包していることが特徴的であります。

本大会に参加される皆様には、このような沖縄県の文化の奥深さや自然の醍醐味を肌で感じていただき、本大会のテーマである「文化芸術の花 咲いわり」のとおり、皆様の文化芸術活動ひとつひとつが多様で魅力あふれる花を咲かせ、国内外に向けて大きな感動を発信する大会となることを心から祈念しております。

また、本大会は、「美ら島おきなわ文化祭 2022」として、第22回全国障害者芸術・文化祭と一体的に開催されています。障害の有無に関わることなく、様々な交流を通じて、あらゆる人々が芸術文化に親しむことのできる共生社会の実現に寄与されることを大いに期待しております。

文部科学省では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を踏まえ、「日本の美」を国内外に発信してきた「日本博」をさらに強化し、2025年大阪・関西万博に向けて「日本博 2.0」として展開してまいります。今後とも、地方創生や観光等の関連分野とも連携しながら、文化行政を総合的に推進し、文化による本質的・社会的・経済的価値の創出を強力に実行することによって、「文化芸術立国」の実現に取り組んでまいります。

結びに、新型コロナウイルス感染症への対応を余儀なくされる中で、開催に当たり格別の御尽力をいただきました沖縄県、開催市町村、文化団体をはじめ、関係する全ての皆様に深く感謝申し上げます。



厚生労働大臣 加藤 勝信

「美ら島おきなわ文化祭 2022」の開催に当たり、主催者の一人として御挨拶を申し上げます。沖縄県での開催は、平成 18 年度に次いで 2 回目の開催となり、「第 37 回国民文化祭」及び「第 22 回全国障害者芸術・文化祭」の一体開催としては本年度が初めてとなります。

全国障害者芸術・文化祭は、障害のある方々が芸術文化活動を通じて自己を表現し、生活を豊かにするとともに、国民の障害への理解を深めることにより、障害のある方々の自立と社会参加の促進に寄与することを目的としています。国民文化祭との一体的な開催により、障害の有無に関わらず、すべての人がお互いを尊重しながら共生する社会の実現につながることを祈念しております。

沖縄県の本土復帰 50 周年という大きな節目を迎えた年に開催する本大会は、「文化芸術の花咲いわり」をテーマに、多様な文化を育んできた沖縄県を舞台に開催される文化・芸術の祭典です。このうち、「ちむぐくる（真心）ゆい（結）フェスタ」においては、障害のある方々が制作した作品を展示する全国アート作品展や、障害の有無にかかわらず一緒に参加して楽しむ造形ワークショップ、音楽・舞踊・演劇等、様々なイベントが開催されます。この機会に、多くの方に障害のある方々の魅力ある作品に触れて楽しんでいただくとともに、障害のある方自身の活躍の場が一層広がっていくことを期待しております。

あわせて、厚生労働省では、本大会と連携し全国各地で障害者芸術・文化イベントを行う「サテライト開催事業」の開催を通じて、沖縄県の芸術・文化の魅力を全国に伝えていくこととしております。

また、引き続き、都道府県の「障害者芸術文化活動支援センター」設置の支援を進め、人材育成や関係者のネットワークづくり等を通じて、障害のある方の芸術文化活動の全国的な振興を図ってまいります。

結びに、本大会の開催に当たり、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策への御配慮等も含め、格別の御尽力をいただきました沖縄県、開催市町村、芸術文化団体をはじめ、関係する多くの皆様に深く感謝申し上げます。私からの挨拶といたします。

第 37 回国民文化祭沖縄県実行委員会
第 22 回全国障害者芸術・文化祭実行委員会会長
沖縄県知事 玉城 デニー



「第 37 回国民文化祭 第 22 回全国障害者芸術・文化祭」を統一名称「美ら島おきなわ文化祭 2022」として、日本復帰 50 周年の節目の年に沖縄県で開催できますことは誠に嬉しいことであり、県民を含め、全国各地、海外から沖縄大会に御参加いただく皆様を心より歓迎いたします。

沖縄は、東西 1,000km、南北 400km の広大な海域に大小 160 の島々が点在する全国でも有数の島しょ県であり、亜熱帯の海に囲まれた美しい島々は、その自然環境と風土、地域に根差した個性豊かで多様な文化の魅力に溢れています。

さらに、沖縄は、古来、諸外国等との交流を通じて多様な文化と触れ合い、沖縄の精神的、文化的風土と融合させることで独特の文化を育み、伝統文化の多くは琉球王国時代に大きく花開きました。その後、琉球王国から沖縄県となり、沖縄戦を経たのち 27 年間のアメリカ統治を経験し、昭和 47 年に日本へと復帰するなど、沖縄の文化は様々な世替わりを経験する中で、困難な状況におかれても多様な彩を加えながら形成されてきました。加えて、移民県である沖縄の文化は、今日、世界中で花開いています。

沖縄大会では、こうした歴史の中で育まれた沖縄の文化芸術が花開き、より多くの人に知れ渡り、その美しさに触れてほしいという願いをこめた「文化芸術の花 咲いわり」を大会テーマに掲げ、10 月 22 日から 11 月 27 日の 37 日間にわたり、文化芸術に関する沖縄県内各市町村の特色を活かした様々なイベント、また、全国の文化団体の皆様と連携した様々なイベントが開催されます。

ぜひこの機会に、沖縄文化の魅力を存分に堪能していただくとともに、多彩な文化芸術に触れ、感動と喜びを共に分かち合ってくださいと考えております。

また、障害のある方もない方も、子どもから御年配の方まで、より多くの方々が沖縄県内各地で開催される各イベントに参加され、様々な交流を通じて相互理解を深め、誰一人取り残さない共生社会の実現に繋がっていく大会となることを期待しております。

沖縄の経験がそうであるように、文化は人々に困難を乗り越える勇気を与え、心の拠り所となる「ぬちぐすい(命の葉)」だと思います。沖縄大会がコロナ禍のような困難な状況下にある方々に、勇気や希望を与えるものとなることを切に願っております。

結びに、首里城復興に際し国内外から多くの御支援をいただていることに感謝申し上げますとともに、「美ら島おきなわ文化祭 2022」の開催に格別の御尽力と御支援をいただきました関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、挨拶いたします。

第 37 回国民文化祭
第 22 回全国障害者芸術・文化祭
宜野湾市実行委員会会長
宜野湾市長 松川 正則



「第 37 回国民文化祭 第 22 回全国障害者芸術・文化祭」・「美ら島おきなわ文化祭 2022」の分野別交流事業として「将棋フェスティバルin宜野湾」を宜野湾市で開催できますことを、心からお慶び申し上げますとともに、宜野湾市民を代表しまして、多くの将棋愛好者の皆様やプロ棋士の皆様に心より歓迎申し上げます。

ここ宜野湾市は、西海岸地域においてマリーナやビーチをはじめ、コンベンション施設、大型商業施設やリゾートホテルが立地する観光リゾートエリアとして機能を有しております。文化・芸術の分野においても、五穀豊穡を願う大山・真志喜の綱引きや、市内青年会による青年エイサー祭り、市指定無形民俗文化財に登録されております我如古スンサーミー等、本市の歴史・文化を堪能できるコンテンツが充実しております。

さらに、今年は宜野湾市制施行 60 周年と記念すべき節目の年であり、「繋がる 広がる じのーん（ぎのわん）の輪」を合言葉に、伝統や歴史を大切にしながら、明るい未来へつなげる活動を推進しており、本大会においても文化・芸術の素晴らしさを味わっていただき、今後とも文化芸術の魅力あふれる宜野湾市を目指してまいります。

「将棋フェスティバルin宜野湾」は小中学生限定のこども将棋大会、将棋の棋力によって階級別に分かれる記念将棋大会、プロ棋士による公開対局や指導対局、トークショー、駒師の将棋駒製作実演など盛りだくさんの 2 日間となっておりますので、ご来場の皆様には、存分に将棋文化に親しんでいただき、あらためて文化・芸術の素晴らしさを実感していただける機会となることを心から願っております。

結びに、「将棋フェスティバルin宜野湾」の開催にあたりご尽力いただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、本大会にご参加された皆様が将棋文化の魅力を堪能できますことを記念申し上げ、挨拶といたします。

参加棋士紹介



もりうち としゆき
森内 俊之 九段 (永世称号有資格者)

生年月日 昭和45年10月10日 (52歳) **出身** 神奈川県横浜市

段位 昭和57年12月6級で奨励会入会 (勝浦修九段門下)
昭和62年5月 四段 プロ棋士となる
平成2年6月 五段 公式戦100勝
平成4年4月 六段 順位戦B級2組昇級
平成6年4月 七段 順位戦B級1組昇級
平成7年4月 八段 順位戦A級昇級
平成14年5月 九段 名人位獲得

趣味 スポーツ観戦
バックギャモン

将棋を始めたキッカケ 小3の時、友人の間で流行していたので



いけなが たかし
池永 天志 五段

生年月日 平成5年4月20日 (29歳) **出身** 大阪府大阪市

段位 平成18年9月6級で奨励会入会 (小林健二九段門下)
平成22年4月 三段 第47回奨励会三段リーグ入り
平成30年4月 四段 プロ棋士となる
令和3年4月 五段 竜王ランキング戦 連続昇級

得意戦法 矢倉

趣味 読書

将棋を始めたキッカケ 小学生1年生のとき、父親が将棋の本を買ってきたため



とみた せいや
富田 誠也 四段

生年月日 平成8年2月13日 (26歳) **出身** 兵庫県三田市

段位 平成19年9月6級で奨励会入会 (小林健二九段門下)
平成25年4月 三段 第53回奨励会三段リーグ入り
令和2年10月 四段 プロ棋士となる

得意戦法 四間飛車

趣味 サウナ、ジムでの運動

将棋を始めたキッカケ 5歳の時に父から教わった



むろた いお
室田 伊緒 女流二段

生年月日 平成元年5月24日 (33歳) **出身** 愛知県春日井市

段位 平成16年10月 女流育成会入会
平成17年10月 女流2級 (杉本昌隆八段門下)
平成18年4月 女流1級
平成20年4月 女流初段
平成26年9月 女流二段 女流初段昇段後60勝

得意戦法 振り飛車 **趣味** 旅行

将棋を始めたキッカケ 弟が将棋大会に出ているのを見て

タイムテーブル

11月19日(土)				
	子ども将棋大会	ステージイベント	指導対局	
8:30	8:30～ 初心者クラス受付			
9:00	9:00～ 全クラス受付 / 初心者説明会			
9:30	9:45～ 開始式		9:30～ 申込受付(定員各回20名) ※申込多数の場合、予選敗退者優先となります。	
10:00	10:00～ 予選 12:30～ 決勝 ※12:30以降を目安に各クラスごとに決勝の開始時間が異なります。		10:40～ 指導対局① 10:20 申込締切 10:30 結果発表	
10:30				
11:00				
11:30				
12:00			12:00～ 開場(先着150名)	11:40～ 指導対局② 11:20 申込締切 11:30 結果発表
12:30				
13:00				13:30～ 指導対局③ 13:10 申込締切 13:20 結果発表
13:30				
14:00			14:40～ トークショー	
14:30				
15:00		15:20～ 公開対局 室田女流二段対有段者クラス優勝者 (解説 森内九段 池永五段)		
15:30				
16:00				
16:30		16:30～ 子ども将棋大会表彰式		

11月20日(日)				
	記念将棋大会	ステージイベント	指導対局	
8:30	8:30～ 初心者クラス受付			
9:00	9:00～ 全クラス受付 / 初心者説明会			
9:30	9:45～ 開始式		9:30～ 申込受付(定員各回20名) ※申込多数の場合、予選敗退者優先となります。	
10:00	10:00～ 予選 12:30～ 決勝 ※12:30以降を目安に各クラスごとに決勝の開始時間が異なります。		10:40～ 指導対局① 10:20 申込締切 10:30 結果発表	
10:30				
11:00				
11:30				
12:00			12:00～ 開場(先着150名)	11:40～ 指導対局② 11:20 申込締切 11:30 結果発表
12:30				
13:00				
13:30			13:40～ トークショー	
14:00			14:20～ 公開対局 森内俊之九段対池永天志五段 (解説 富田誠也四段 室田伊緒女流二段)	
14:30				
15:00				
15:30		15:30～ 記念将棋大会表彰式		

○指導対局

指導対局は、当日事前申込制です。上記の締切時刻までに指導対局受付にてお申込みください。申込多数の場合は予選敗退者優先として、抽選させていただきます。

○トークショー・公開対局

12:00～ 受付開始・開場 子ども将棋大会 (11月19日) 14:40～ 開演
記念将棋大会 (11月20日) 13:40～ 開演

トークショー・公開対局は、定員150名の先着順とさせていただきます。12:00から受付を開始し、整理券を配布させていただきます。※受付開始時刻は、ご参加の方の密を防ぐため、予告なく変更となる場合がございますのでご了承ください。

○休憩所

大会会場(宜野湾市立体育館)2階を休憩所として開放しております。昼食会場等としてご利用ください。

会場図



ご来場のお客様へ

- 会場内ではマスクの着用、手指の消毒、ソーシャルディスタンスの確保等感染症対策にご協力ください。
- 会場内では対面・大声での会話はお控えください。
- 客席での写真撮影は可能ですが、動画撮影はできません。客席でのご飲食はできません。
- 棋士を呼び止めてのツーショット撮影やサインの依頼は、イベント進行の妨げとなりますのでご遠慮ください。
- 携帯電話は、電源を切るかマナーモード設定にするなどのご配慮をお願いします。
- 感染が疑われる方はご退場いただき、かかりつけ医や保健所に相談してください。

お問合せ

第37回国民文化祭

第22回全国障害者芸術・文化祭宜野湾市実行委員会将棋フェスティバル in 宜野湾事務局
〒901-2710 沖縄県宜野湾市野高一丁目1番1号 宜野湾市観光スポーツ課
TEL: 098-893-4432 FAX: 098-893-4410 E-mail: shimin05@city.ginowan.okinawa.jp